

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0202015

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 オホーツク紋別—羽田便を利用した町民、及び町民以外で道外から同便を利用し、雄武町内の宿泊施設、親戚知人宅に宿泊した人等に対し、助成金(往復2万円、片道1万円、小児料金の適用を受けた場合はその半額)を交付する。
基本施策	16 交通体系の整備	事業優先度	C	
単位施策	2 公共交通の維持・確保	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)	
事業名	雄武町オホーツク紋別空港利用促進助成事業	見直し年度		
事業期間	平成24年度	担当課	2 財務企画課	
事業主体	雄武町	関係課	9 産業振興課	
事業指標	紋別—羽田直行便運航期間		#N/A	
事業目標	通年運航(12ヵ月)	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	1 第一義的利用助成対象者は町民である	関係例規・法令名	1 雄武町オホーツク紋別空港利用促進助成金交付要綱	
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計 画 内 容	助成金交付要綱の制定・周知 助成金の交付					助成金交付要綱の制定・周知 助成金の交付	
	事業費(千円)	10,006	0	0	0	10,006	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	10,006				10,006		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	58,244	0	0	0	58,244	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	47,000				47,000	
その他	1,650				1,650		
一般財源	9,594				9,594		
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) 過疎債ソフト 遠紋協議会住民補助金	【評価・実績】	(実施内容等)  ※前年度評価結果	(実施内容等)  ※前年度評価結果	(実施内容等)  ※前年度評価結果	(実施内容等) 助成金交付要綱の制定・周知 助成金の交付  ※前年度評価結果	
	第4期総合計画関連	年度目標値				通年運航(12ヵ月)	
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	582%
		全体達成率	0%	0%	0%	0%	582%
		事業進捗状況					☆☆☆☆☆

事業名	雄武町オホーツク紋別空港利用促進助成事業	評価者 管理職 職氏名	財務企画課長	佐々木 幸博
		評価者 作成者 職氏名	企画調整係長	大水 寛仁

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	紋別—羽田便を利用する町民及び町内への通勤通学者、道外在住の雄武町宿泊者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	通年運航(12ヵ月)								
【抱える課題やニーズは】	紋別—羽田直行便の利用低迷により、1年のうち3ヵ月間、千歳経由便運航を余儀なくされている	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	紋別—羽田直行便の通年運航	① 直行便運航月数/12ヵ月	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>12ヵ月</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>9ヵ月</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>75.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	12ヵ月	実績値	9ヵ月	達成度	75.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	12ヵ月										
実績値	9ヵ月										
達成度	75.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	紋別—羽田直行便の通年運航により、町民の首都圏移動の利便性向上、さらには観光客等の増加により地域経済の活性化を図る	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	助成金交付要綱の制定・周知	雄武町オホーツク紋別空港利用促進助成金交付要綱を制定し、チラシや広報誌、ホームページ等で周知を図った									
	助成金の交付	紋別—羽田便利用者に、片道1万円、往復2万円(小児料金の適用を受けた場合はそれぞれの半額)を助成した									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	オホーツク紋別空港は、雄武町から車で1時間圏内にあり、東京直行便の継続運行は、町民の利便性維持はもちろんのこと、交流人口の拡大や観光政策、医師の確保等、地域振興に欠くことのできない拠点である
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	制度施行の初年度であり、施行時点で3ヶ月の経由便化は決定していたため目標値は達成していないが、利用者については経由便時も含め予想を大幅に上回る実績となり、次年度以降の直行便通年運航に向けたプラス材料となったことから、ほぼ達成と判断した
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成
	<input checked="" type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由	道外からのツアー客から高い評価を受け約1,800人に対し3,600万円を助成し、結果として大型補正にて対応したが、過疎債を活用し一般財源による負担を抑制したことにより、域外からの経済効果を高めることができた
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

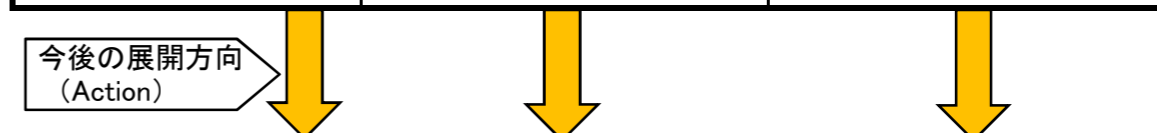
公平	判断の理由	助成対象便を利用した後の事後申請による助成であり、雄武町民であることや雄武町に宿泊した事実等をもって交付決定しているため公平である
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
制度開始のタイミングで指標達成していないが、町民の福利厚生や親戚等の帰省が促進され、また雄武町の豊かな自然や素朴な風景などが都市部に住む人々のニーズにマッチし、新たな観光推進に向けての足がかりにもなった		



継続/内容の見直し・変更		
より経済効果が高まるよう助成単価の見直しを図りつつ、さらなる町民利用の促進や観光客等の増に対応する仕組みを構築していく必要がある		

※展開方向の区分  
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 終了  休止  廃止